

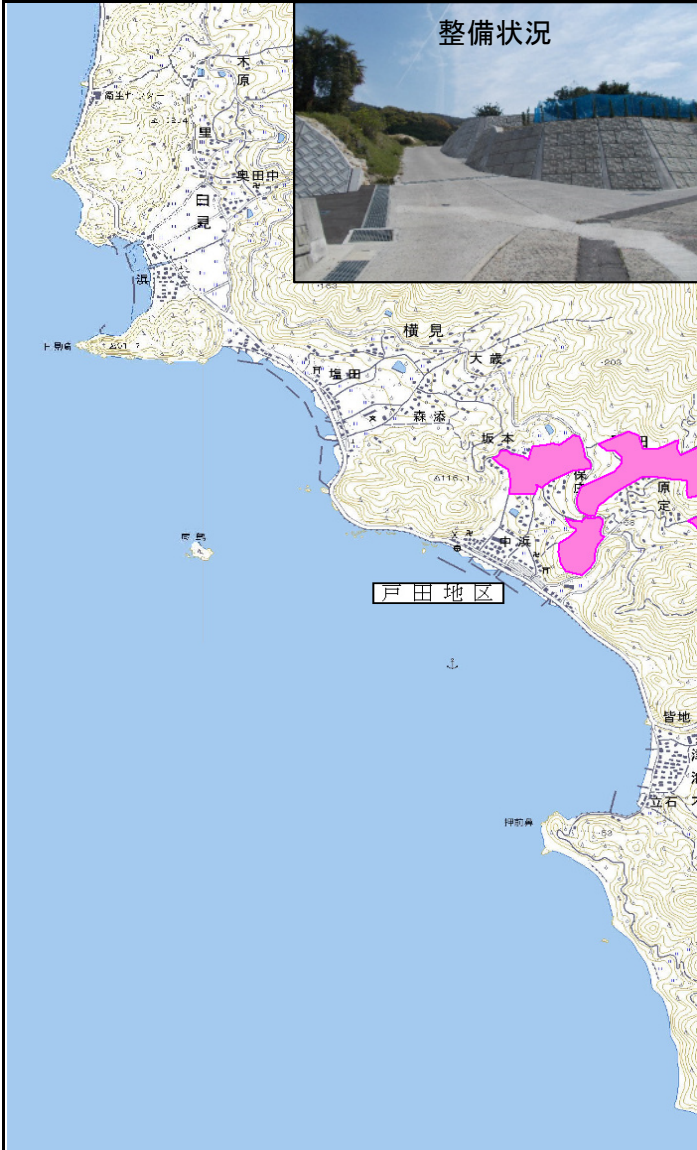
再評価項目調査

再評価実施要件		● 事業採択後 (10 年) ○ 再評価後 (年) ○ その他 ()						
1 事業概要	事業名	戸田地区 経営体育成基盤整備事業						
	事業場所	大島郡周防大島町大字戸田						
	事業主体	山口県						
	事業期間	《 前回評価 平成 27 年時 》 平成 28 年度 ~ 令和 10 年度 《 令和 8 年度 》 (西暦 2016 年度 ~ 西暦 2028 年度 《 西暦 2026 年度 》)						
	総事業費 (内用地補償費)	《 617 百万円 》 1,517 百万円 (- 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	1,023 百万円 (- 百万円)	進捗率 (用地補償費)	67 % (- %)		
	事業目的	<p>「大島みかん」の産地である戸田地区は、みかんの栽培面積が減少し、荒廃農地が増加傾向にある。戸田地区の樹園地は、狭小・不整形で階段状に分布しており、作業効率が悪く農業経営の支障となっている。</p> <p>このため、農道の拡幅や用水施設の整備、樹園地の拡大等を一体的に行う樹園地整備を行うことにより、農作業の省力化や収益性の向上を図ることを目的とする。</p>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹園地整備 A=20.4ha 							
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作物生産効果 樹園地の整備により、みかんの収量が増え、農業生産が向上 ・ 品質向上効果 用水施設の整備により生産される作物の品質や商品としての価値が向上 ・ 営農経費削減効果 樹園地の拡大等により、現況の営農体系が改善 ・ 維持管理費削減効果 樹園地の整備により、農地・農業用施設の維持管理労力が軽減 ・ 営農に係る走行経費削減効果 農道整備により、農作物や資材の輸送に係る走行経費が節減 ・ 農業労働環境改善効果 農作業の省力化により、労働環境が改善 							
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化	社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	<p>高齢化による農家の減少や経営耕地面積の減少が進んでいることから、優良農地の確保にあわせて、農作業を省力化し収益性を向上させる必要があり、本事業の必要性は高い。</p> <p>[参考] 周防大島町の社会経済情勢 《総農家数》 1,445人(H27)→1,018人(R2) Δ29.5% 《高齢化率》 84%(H27) → 85%(R2) +1.0% 《経営耕地面積》 615ha(H27)→489.0ha(R2) Δ20.5%</p>				中項目評価	大項目評価
		関係市町及び地元の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業を契機に設立した「戸田基盤整備組合」は、樹園地整備の進捗とあわせてみかんの生産拡大を進めることとしており、本事業に対する地元の高い期待は高い。 ・ 地域農業の振興に必要な事業であることから、周防大島町からも、毎年、事業推進について要望を受けている。 				中項目評価	A ・ B ・ C

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果 分析等	単位：百万円				大項目 評 価 Ⓐ ・ B ・ C
			区分	主な項目	事業採択時 (基準年：H27)	再評価時 (基準年：R7)	
	(3) 事業の進捗	事業の進捗と 今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農道3.0kmのうち1.7kmの整備が完了し、用水路6.7kmのうち2.7kmの整備が完了し、簡易設備20.4haのうち2.1haの整備が完了している。(令和6年度末時点) ・ 令和7年度以降、残りの農道1.3km、用水路4.0km、簡易整備18.3haの整備を行う。(令和10年度完了予定) <p>【事業費の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>-</p> <p>【事業期間の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p> <p>完了年度：R8 → R10 [理由] 現地の地形が急峻であり、大型の工事車両が進入できる箇所が限られることから、小規模な建設機械による施工を余儀なくされ、作業効率が低下し、工事の進捗が遅れた。</p>				大項目 評 価 Ⓐ ・ B ・ C
			コスト縮減	代 替 案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農道の路面排水について、道路側溝を設けずに水路兼用農道により流下させることで、道路改良に必要な用地を最小限に抑えることにより、コスト縮減を図る。 ・ 農道の整備に際し、可能な限り現場から発生する石を利用した石積をすることでコスト縮減を図る。 <p>【事業費の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>完了年度：R8 → R10 [理由] 現地の地形が急峻であり、大型の工事車両が進入できる箇所が限られることから、小規模な建設機械による施工を余儀なくされ、作業効率が低下し、工事の進捗が遅れた。</p>		
(4) コスト縮減 代替案等の 可能性	コスト縮減	代 替 案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農道の路面排水について、道路側溝を設けずに水路兼用農道により流下させることで、道路改良に必要な用地を最小限に抑えることにより、コスト縮減を図る。 ・ 農道の整備に際し、可能な限り現場から発生する石を利用した石積をすることでコスト縮減を図る。 <p>【事業費の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>完了年度：R8 → R10 [理由] 現地の地形が急峻であり、大型の工事車両が進入できる箇所が限られることから、小規模な建設機械による施工を余儀なくされ、作業効率が低下し、工事の進捗が遅れた。</p>		中項目 評 価 Ⓐ ・ B ・ C		
3 環 境	配 慮 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設排水路をそのまま活用し、水辺環境への影響を最小限とすることで水生生物の生息場所を確保する。 				中項目 評 価 Ⓐ ・ B ・ C	
4 対 応 方 針 (事業実施主体案)	総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し継続 <input type="radio"/> 中止				中項目 評 価 Ⓐ ・ B ・ C	
	評 価 理 由	地域の農業振興を図るために必要な事業であるため。				中項目 評 価 Ⓐ ・ B ・ C	
	備 考					中項目 評 価 Ⓐ ・ B ・ C	

戸田地区 経営体育成基盤整備事業

計画一般平面図



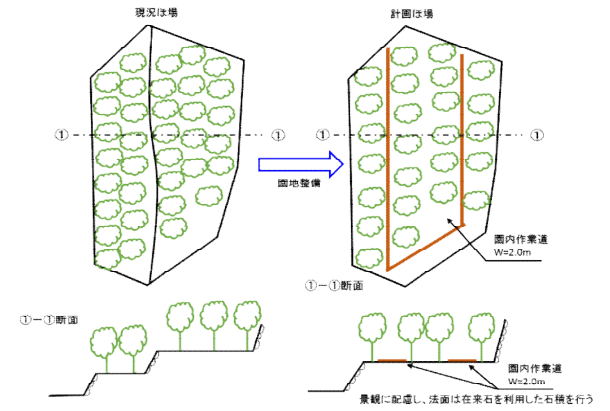
整備状況



県内位置図

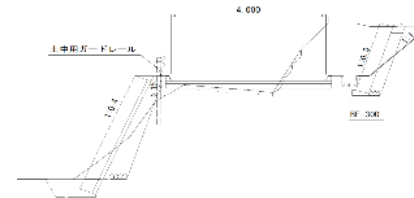


標準区画割図

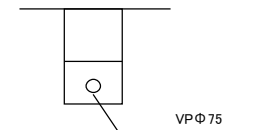


標準構造図

農道整備



農業用排水施設整備 (ハイライン)



鳥獣侵入防止施設

